

楽観的認識を改めよ

飛田理事長が年頭訓示



飛田理事長の訓示を述べる飛田理事長 = 4号館講堂

学校法人金沢学院の平成二十一年仕事始め式は一月六日、4号館講堂で行われ、飛田秀一理事長が教職員約二百五十人を前に、年頭の訓示を行いました。飛田理事長は、もし楽観的認識をまだ持っているならば直ちに改め、経営の安定化へ学生、生徒募集の強化を図ってほしい」と述べ、学部学科の改革など基本方針と施策を示しました。

基本方針として、社会人の積極的な受け入れ、東高校の新校舎完成に伴う生徒募集なども指示しました。新しい施策では、運動部の創設に合わせた募集強化、文科省の留学生三十万人計画に呼応した本学への受け入れ検討などを示しました。

経営安定へ募集強化を



北京五輪を振り返る(左から)齋藤選手と中川選手(北國新聞社提供)

齋藤、中川選手が登場

音楽堂 カウントダウン演奏会

十二月三十一日に石川県立音楽堂で行われた北國新聞社主催のカウントダウンコンサートに、北京五輪に出場した金沢学院東高校教員の齋藤里香選手(ウエイトリフティング女子69⁺級)と金沢学院大学三年の中川真依選手(水泳女子高飛び込み)が招かれ、五輪の思い出などを語りました。

齋藤選手は「日本記録を更新できたのは、監督、コーチの指導、仲間の皆さんの思いが通じたおかげ」と改めて感謝しました。中川選手は「北島康介選手が、緊張している私に声をかけ、写真と一緒に撮ってくれたことがうれしかった。ロンドン五輪でも頑張りたい」と抱負を話しました。

短大の高田さんにデザイン最優秀賞



短大の高田さんにデザイン最優秀賞

マイバッグコンテスト
金沢学院短期大学生活デザイン学科一年の高田美香さんが写真上七尾市中能登町広域圏の繊維産業

グループが主催した生地提供型マイバッグコンテストでデザイン部門の最優秀賞に選ばれました。高田さんがデザインしたバッグは、用途によって大きさを変えられるのが特徴です。高田さんは「年齢を問わず、多くの人に使ってもらいたい」と話しています。

初のリーグ戦は6位

バド金沢学院ク、1部残留

バドミントン日本リーグ1部に昇格した金沢学院クラブは10月12日から12月28日まで行われたリーグ戦に初めて臨みました。戦績は2勝5敗、ゲーム率と

マッチ率の比較で8チーム中6位となり、1部残留を決めました。このうち12月21日に高岡市民体育館で行われた第4戦では、地元の高岡トナミ運輸と対戦しましたが、セットカウント1-2で敗れました。会場には本学教職員も多数駆けつけ、声援を送りました。



トナミ運輸のペアを破った青山・車組(高岡市民体育館)



会場に掲げられた応援幕

東高吹奏楽部が慰問

金沢学院東高校吹奏楽部の部員六人は十二月二十六日、金沢市末町のデイサービスセンター「朱鷺の苑末野蔵」を慰問し、約三十人のお年寄りを前にクリスマスソングや唱歌などを演奏しました。写真左「おぼろ月夜」赤とんぼ」など昔懐かしい唱歌や童謡が流れると、口ずさむお年寄りの姿も見られました。



24日に合唱部定演

金沢学院大学・短期大学の合唱部定期演奏会は一月二十四日午後二時から、金沢市アトホールで開かれます。曲目は混声合唱曲集「空に、樹に」などです。入場料は前売り、当日とも三百円です。